

地球総合工学概論
Global Architecture

教員名	地球総合工学科全教員							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S 1 棟 地球総合工学科事務室							
E-MAIL アドレス								
履修対象	地球総合工学科 (1 年次)							
単位	2	セメスター				2		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	地球総合工学のなかでの船舶海洋工学，社会基盤工学，建築工学の位置づけと研究・教育分野を学び，これらの技術の地球環境，都市，社会に及ぼす貢献と影響について幅広い視点から理解する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	◎		○					○
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目
	概論 (1 回)		本講義の目的と内容について概説する。(包括 1 回)					A
	船舶海洋工学の役割と基礎 (4 回)		船，人，環境の関係を理解し，深海と荒海への挑戦や海洋エネルギーなどに関するトピックスを通じて船舶海洋工学分野への理解を深める。(包括 4 回)					A C
	社会基盤工学の役割と基礎 (4 回)		国土と都市における社会基盤整備の計画と建設，自然災害の克服と自然環境との調和，豊かな社会のための国土計画と都市と交流ネットワークづくりなどのトピックスを通じて社会基盤工学分野への理解を深める。(包括 4 回)					A C
	建築工学の役割と基礎 (4 回)		人と建築・都市・地域とのかかわり，建築における安全性と快適性の確保，建築・都市における新しい挑戦などに関するトピックスを通じて建築工学分野への理解を深める。(包括 4 回)					A C H
	地球総合工学の構成 (1 回)		地球総合工学における各分野の重要性や卒業後の進路，仕事内容を理解する。(包括 1 回)					A C H
	学期末試験 (1 回)							
教科書	各講義において必要な資料を配布する。							
参考図書・文献等	地球総合工学入門，大阪大学出版会							
成績評価方法・評価基準	C と H については学期末試験 (80%) で評価する。A については毎回講義の小レポート (20%) で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail で対応							
コメント	本講義は，地球総合工学科を構成する各学科目が扱っている多様な課題の中から，その一部を紹介することによって，学生諸君が学科の全容を理解するための一助とするともに，将来の進学コースを考える上での参考とするものである。							